

2023年8月

グラフで見る和歌山県経済指標

和歌山県経済は、個人消費が緩やかに持ち直しているが
企業活動の一部にやや弱さが見られる

内閣府の月例経済報告（2023年8月28日公表）において、「景気は、緩やかに回復している」との判断が維持された。個別項目については、「輸出」で判断が引き上げられたが、「住宅建設」の判断は引き下げられた。

以下では、「全国の情勢」、「和歌山県の情勢」を主要経済指標（主に7月の値）に基づき報告する。

全国の情勢

① **需要動向**に関して、「個人消費」、「設備投資」、「公共投資」の判断は維持された。「住宅建設」は、資材価格や人件費の高騰を背景に、分譲住宅の着工戸数が減少傾向にあることから、「おおむね横ばいとなっている」との判断に引き下げられた。その一方で、「輸出」については、半導体不足の影響が緩和されていることもあり、自動車を中心に輸出数量に回復の動きが見られ、「このところ持ち直しの動きがみられる」との判断に引き上げられた。

② **企業活動**に関して、「生産」、「企業収益」、「設備投資」、「業況判断」、「倒産件数」のいずれについても判断が維持された。

③ **雇用情勢**に関しては、「改善の動きがみられる」との判断が維持された。

④ **物価**に関しては、「消費者物価」が「上昇している」、「国内企業物価」については、「緩やかに下落している」との判断が維持された。

⑤ **世界経済**に関しては、「一部の地域において弱さがみられるものの、持ち直している」との判断が維持された。国・地域別では、消費や生産が弱含む中国で判断が引き下げられたが、消費や設備投資に加えて、住宅投資でも増加の兆しが見られる米国については、判断が引き上げられた。

和歌山県の情勢

① **個人消費面**では、**百貨店・スーパー販売額（7月）**は、前年同月比 2.7%増となり、10か月連続で前年を上回った。近鉄百貨店和歌山店の販売額（7月）は、前年同月比で 2.3%増となっている。食品価格の上昇が続き、家計の節約志向の強まりが懸念されるものの、猛暑もあり、涼商材・夏物衣料の販売が伸び、全体の売上増に寄与したものと考えられる。夏物商材の販売好調は他分野にも及んでおり、ドラッグストア販売額は前年比 12.7%増、ホームセンター販売額は前年比 7.0%増となっている。

新車販売台数（軽自動車〔乗用〕含む、7月）は、前年同月比 12.7%増となり、11か月連続で前年を大きく上回った。一部メーカーでの工場停止の影響もあり、軽乗用車の販売台数は前年比 1.7%減となるも、半導体不足の緩和もあり、登録車の登録台数は前年比 23.9%増となっている。

新設住宅着工戸数（7月）は 390 戸で、前年同月比 8.9%増（5か月ぶりに前年を上回る）。ただし、県内着工戸数の多くを占める「持家」の着工戸数は 5か月連続で前年を下回っており、減少傾向に変化は見られない。

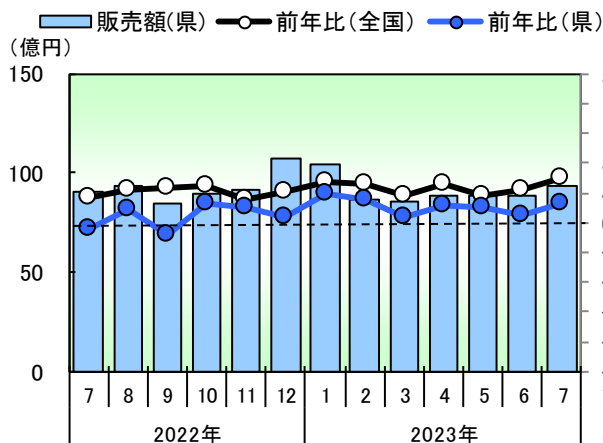
② 企業活動面では、**鉱工業生産指数（6月）**は、前月から7.4ポイント下降（下降は4か月ぶり）。主力業種の一つであるはん用機械工業における生産指数が全体の下降につながった。

公共工事請負金額（7月）は、前年同月比3.5%増となり、3か月ぶりに前年を上回った。4～7月までの累計請負金額は、前年同期比4.4%減となっている。近畿中部防衛局串本局舎建設工事など紀南エリアを中心に大型工事が見られる一方で、和歌山市エリア、紀北エリア、紀中エリアでは請負金額が減少傾向にある。

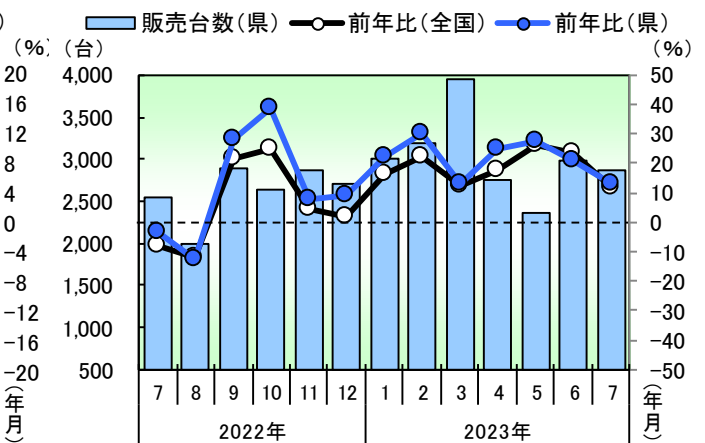
帝国データバンクが発表している**県内 TDB 景気 DI（7月）**は、前月から0.4ポイント上昇。上昇は4か月連続。ただし、主力業種の一つである製造業は下降している。このような状況を受けて、帝国データバンクは、「県内景況は価格動向や海外情勢などに影響を少なからず受けるものと見られ、一本調子での景気浮揚は期待しがたいが、当面は緩やかな回復基調が続くものと予想される」としている。

③ 雇用面については、**有効求人倍率（7月）**は、前月から0.03ポイント下降し、1.10倍（下降は5か月連続）。有効求職者数が2か月連続で増加する中、有効求人数が4か月連続で減少し、東京都や大阪府に緊急事態宣言が発出されていた2021年7月以来、2年ぶりの低水準となっている。経済活動の正常化に伴い、宿泊業・飲食業を中心に人手不足感が強まる一方で、原材料価格や光熱費の高騰により、人手不足でも人材を採用できない企業が増えているものと考えられる。

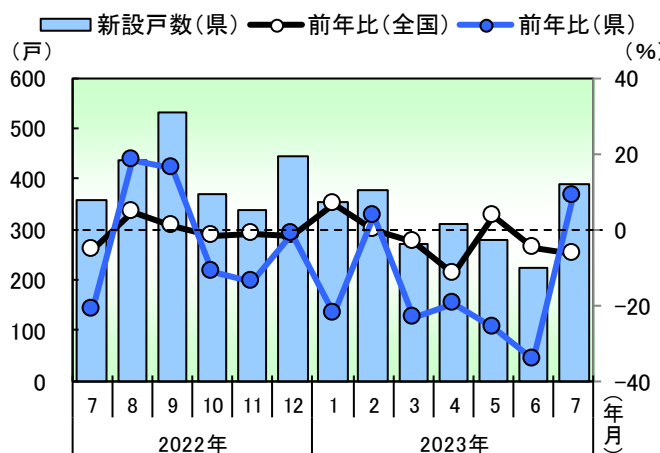
百貨店・スーパー販売額



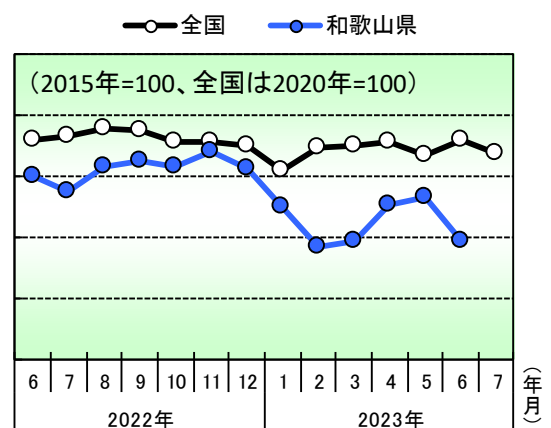
新車(登録車+軽自動車)販売台数

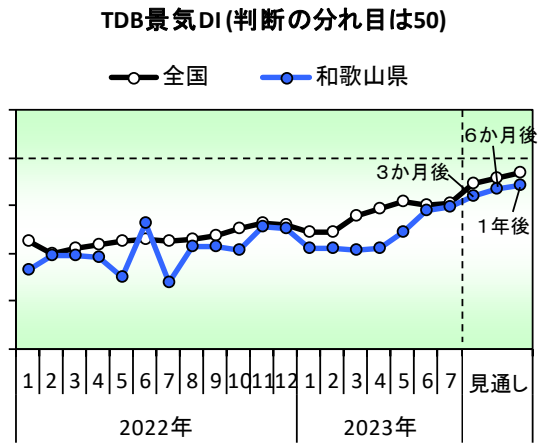
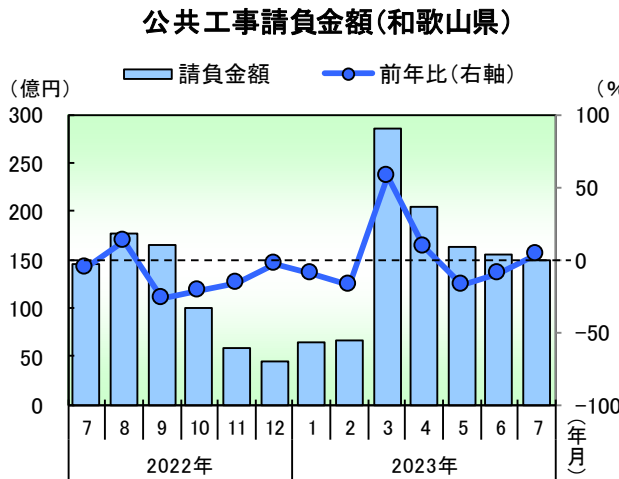
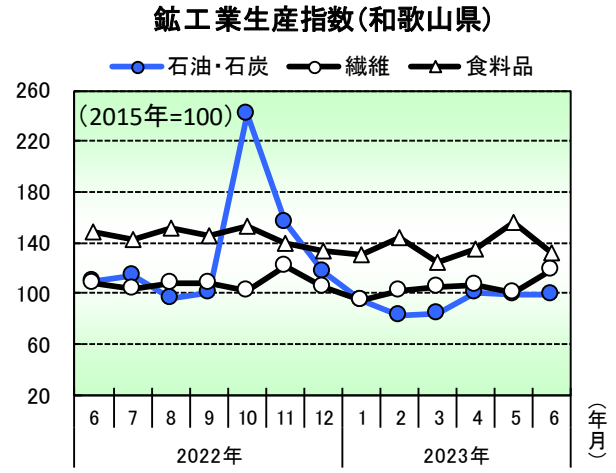
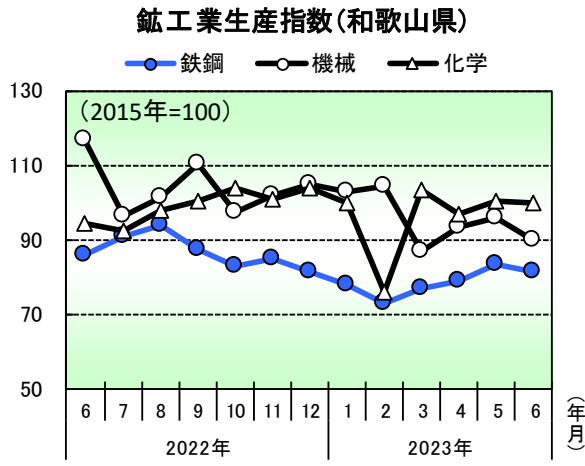


新設住宅着工戸数

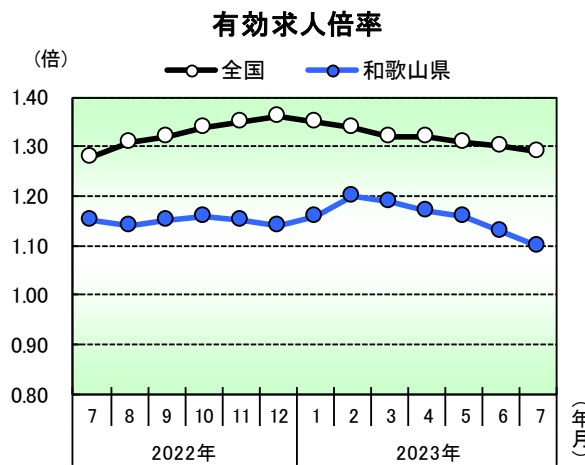


鉱工業生産指数





(資料)株式会社帝国データバンク



(1)個人消費面

	百貨店・スーパー販売額			新車販売台数(*登録+軽)			新設住宅着工戸数		
	販売額 (億円)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	販売台数 (台)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)	着工戸数 (戸)	全国 (前年比)	和歌山県 (前年比)
2018年	1,211	0.0	-2.1	38,949	0.2	0.7	4,935	-2.3	8.7
2019年	1,188	-1.1	-1.9	38,733	-1.6	-0.6	5,188	-4.0	5.1
2020年	1,133	-5.4	-5.4	33,942	-11.6	-12.4	4,514	-9.9	-13.0
2021年	1,093	0.9	-3.7	32,416	-3.3	-4.5	4,591	5.0	1.7
2022年	1,090	3.8	-0.3	30,549	-7.0	-5.8	4,758	0.4	3.6
2022年6月	87.6	1.9	-4.5	2,461	-11.2	-1.6	344	-2.2	-15.1
7月	91.0	3.3	-0.8	2,543	-8.2	-3.1	358	-5.4	-21.3
8月	93.6	4.3	1.7	2,001	-12.1	-12.7	436	4.6	18.5
9月	85.0	4.8	-1.6	2,899	21.4	27.9	531	1.1	16.2
10月	89.3	4.9	2.6	2,648	25.1	38.6	372	-1.8	-11.4
11月	92.0	3.0	2.0	2,877	4.5	7.5	338	-1.4	-13.8
12月	107.8	4.1	0.7	2,696	1.6	9.2	444	-1.7	-1.1
2023年1月	104.4	5.5	3.8	2,999	16.6	22.3	354	6.6	-22.0
2月	86.7	5.2	3.0	3,185	22.1	30.4	378	-0.3	3.8
3月	85.9	3.6	0.8	3,942	12.2	13.2	271	-3.2	-23.2
4月	88.4	5.2	2.2	2,754	17.4	25.2	312	-11.9	-19.8
5月	88.5	3.7	2.0	2,350	26.2	27.2	278	3.5	-25.9
6月	88.5	4.3	1.0	2,973	23.4	20.8	225	-4.8	-34.6
7月	93.4	5.9	2.7	2,866	11.7	12.7	390	-6.7	8.9

(2023年8月31日に取得可能な資料より作成)

(2)企業活動面

	鉱工業生産指数(2015年=100) *全国は2020年=100								公共工事請負額		TDB 景気DI
	全国	和歌山県	鉄鋼	機械	化学	石油石炭	繊維	食料品	請負金額 (億円)	和歌山県 (前年比)	
2018年	114.6	109.2	109.5	117.9	101.2	98.1	106.1	134.7	1,487.6	15.1	
2019年	111.6	102.7	110.3	100.8	100.5	95.4	106.6	138.0	1,585.1	6.6	
2020年	100.0	88.9	81.3	85.0	92.6	76.5	105.0	119.5	1,847.2	16.5	
2021年	105.4	88.4	78.1	89.9	85.6	68.6	101.8	139.8	1,806.3	-2.2	
2022年	105.3	97.2	83.9	98.2	95.8	110.6	104.6	142.8	1,584.1	-12.3	
2022年6月	105.7	100.0	85.9	116.7	94.2	109.9	107.6	148.4	172.7	2.7	43.2
7月	106.3	97.2	90.8	96.2	92.2	114.3	104.0	142.4	145.3	-5.5	36.9
8月	107.8	101.3	93.8	101.3	97.8	96.0	108.2	151.1	176.8	12.5	40.6
9月	107.3	102.3	87.2	110.3	100.3	100.1	107.6	145.2	166.1	-26.9	40.6
10月	105.5	101.5	82.7	97.3	103.7	241.8	101.4	152.2	100.6	-21.2	40.3
11月	105.5	104.0	85.0	101.6	100.6	155.6	121.2	139.0	58.5	-16.1	42.7
12月	104.9	101.0	81.5	104.7	103.8	116.8	105.0	132.9	44.3	-2.3	42.6
2023年1月	100.8	94.7	77.6	102.6	99.8	93.7	93.9	129.6	65.1	-9.6	40.4
2月	104.5	88.2	72.7	104.1	75.7	82.6	102.5	144.3	65.8	-16.8	40.5
3月	104.8	89.2	76.7	86.8	103.3	84.4	105.2	124.2	285.3	57.1	40.3
4月	105.5	95.1	78.6	93.4	96.6	100.3	106.0	135.3	205.7	8.7	40.5
5月	103.2	96.5	83.5	95.8	100.2	98.7	100.2	155.2	162.9	-17.7	42.2
6月	105.7	89.1	81.5	89.7	99.6	99.4	118.4	131.5	155.3	-10.1	44.4
7月	103.6								150.4	3.5	44.8

(注)鉱工業生産指数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(2023年8月31日に取得可能な資料より作成)

(3)雇用面

	有効求人倍率		有効 求人数 (人)	有効 求職者数 (人)	充足率	
	全国 (倍)	和歌山県 (倍)			パートタイム 除く(%)	パートタイム (%)
2018年	1.61	1.34	17,355	12,970	19.6	18.1
2019年	1.60	1.41	17,920	12,699	17.6	17.1
2020年	1.18	1.05	15,107	14,373	16.2	18.8
2021年	1.13	1.09	16,195	14,876	15.2	18.2
2022年	1.28	1.15	16,977	14,777	14.8	16.8
2022年6月	1.27	1.15	17,317	15,055	17.6	18.5
7月	1.28	1.15	17,247	14,977	13.4	16.4
8月	1.31	1.14	16,930	14,898	15.1	16.8
9月	1.32	1.15	16,836	14,664	14.2	15.4
10月	1.34	1.16	16,752	14,486	12.7	15.1
11月	1.35	1.15	16,626	14,400	14.5	15.7
12月	1.36	1.14	16,377	14,386	12.7	13.3
2023年1月	1.35	1.16	16,260	13,991	11.1	12.2
2月	1.34	1.20	16,571	13,838	15.3	18.8
3月	1.32	1.19	16,870	14,216	18.5	21.5
4月	1.32	1.17	16,849	14,373	15.4	21.0
5月	1.31	1.16	16,464	14,179	16.5	20.2
6月	1.30	1.13	16,005	14,223	14.0	17.8
7月	1.29	1.10	15,975	14,466	14.1	15.4

(2023年8月31日に取得可能な資料より作成)

(注1)有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数は季節調整値[ただし、年次値は除く]

(注2)「充足率」とは、事業者が希望通りの人員数を確保できるかどうかを数値で表したものであり、数値が低いほど、人材の確保が難しい。